

これからの公民館とは

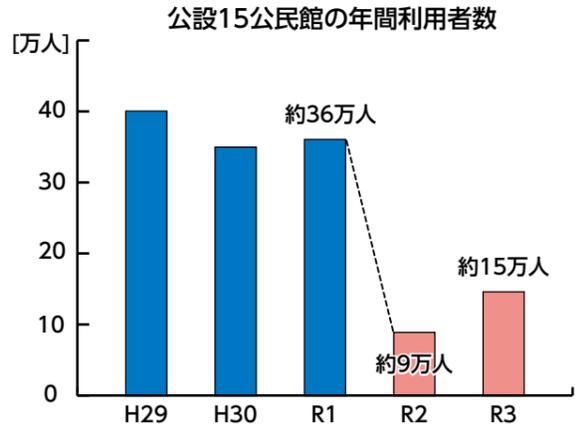
ニーズの変化に加え、新型コロナウイルスのまん延—
公民館は、新たなステージを迎えています



▲座席を1つずつ空け、利用人数を制限している
(黒磯公民館多目的ホール)

感染症の影響で環境が変化

新型コロナウイルスのまん延によって、これまで多くの人が集う場になってきた公民館の環境は大きく変化しました。緊急事態宣言が発出された令和2年度は、公民館の年間利用者数が感染症発生前の4分の1近くに減少。緊急事態宣言解除後は、



感染症対策のために利用可能人数の制限を行いつつも、運営を続けました。その結果、令和3年度末時点では、利用者数は感染症発生前の4割程度に回復してきています。現在の公民館は、新たな感染症対策を行いながら、人々をつなぐためにさまざまな試みを行っています。



▲人同士の間隔を開けるなど、感染症対策を行いながら活動(三島公民館)

公民館に期待するもの

昨年1月、市民を対象に行った「生涯学習に関する市民アンケート」で、「公民館がどんな施設であることを期待するか」と質問したところ、「高齢者が気軽に利用できる」「地域の防災の拠点となる」「市民サービスを受けられる」「生涯学習の情報提供・相談ができる」などの回答割合が高いことが分かりました。

スマート公民館の実現へ

公民館をもっとたくさんの人が使いやすい場所に
西那須野公民館では昨年12月からスマート化の実証実験を行っています

西那須野公民館
スマート化



詳しくはこちら

▲西那須野公民館に作られたシェアスペース

1 みんなが使えるシェアスペースの設置

地元西那須野中学校の生徒がアイデアを出し合い、「幅広い年代の人が利用できるおしゃれなカフェ風スペース」を目指してデザインしたシェアスペース。学習用の机には、スマートフォンやタブレットの充電ができるコンセントを設置。予約は不要で、誰でも利用できます。市内の全15公設公民館にはWi-Fiも整備されているので、さらに快適に利用できるようになりました。



▲シェアスペースの学習用機のコンセントにUSB充電端子を完備！



▲シェアスペース設置前の部屋

2 オンライン予約システムの導入

これまで窓口や電話で行っていた会議室などの予約が、オンラインで気軽にできるようになりました。
※事前に利用者登録が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。



3 スマートロックの導入

タッチパネルに暗証番号を入れると開錠されるスマートロックを一部の会議室などに導入。利用時の鍵の貸し借りが不要で、人との接触を減らすことができます。



シェアスペースを企画した西那須野中学校の生徒に聞きました！

自分たちのまちを良くしていきたいー



3年 石橋 健太郎 さん

自分たちが住むまちを、自分たちで良くしていきたいという思いで企画しました。全生徒のアイデアを込めたシェアスペースづくりにも携われてうれしいです！

みんなが気軽に使える場所を目指してー



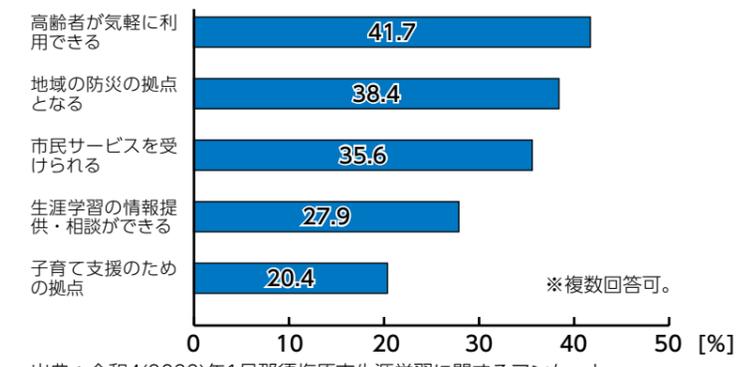
3年 小出 祐未 さん

自分だけでなく、家族や友達に紹介したくなる場所です。勉強したり、みんなで集まったりできるので、公民館を利用したことがない人にも来てほしいです！

これからの公民館に向けて

新型コロナウイルス感染症対策や、アンケートの結果などを受け、公民館ではより多くの幅広い年代が利用しやすく、人、地域、情報につながる拠点となるように、デジタル技術などを活用し利便性の向上を図っています。西那須野公民館ではデジタル化に併せ、地域の課題解決や利用者の年齢層を広げることを目的に、地域の中学生の意見を取り入れたシェアスペースの設置やスマート化などの実証実験を開始しました。

どんな公民館を期待するか(上位回答抜粋)



出典：令和4(2022)年1月那須塩原市生涯学習に関するアンケート